

行 っ て こー わ い 会 っ て こー わ い

「子どもの居場所 おとなの寄り道」

子どもから大人まで
誰もが気兼ねなく過ごせる場所

No. 101

学校から帰ってのんびりできる子どもの居場所をつくりたい。大川理恵さん＝北川原＝は9月、自宅前の土地と倉庫を活用し、子どもたちが自由に放課後の時間を過ごすことができる「子どもの居場所 おとなの寄り道」をオープンさせました。

この場所がオープンするのは、週1回程度で料金は無料です。子どもたちは、看板が立っていることを、オープンしているという目印にして集まってきます。「ハンモックに寝たり、家を作ったりすることが楽しいです。この場所が大好きなので、みんなに広めたい」と、この場所で過ごす楽しさを話すのは、小倉かおるちゃん＝塩屋＝。この他にも、サッカーをしたりテントを立てたりと、1人ではできないことにみんなで挑戦しています。

関わり合うことで、楽しさ以外のものも生まれています。「自分より年下の子が転んだら年上の子が助けることもあります。こうやって人を思いやる優しい気持ちが育っていくんだろうな」と大川さんはほほ笑みます。

今後は、子どもだけでなく名前の通り「おとなの寄り道」としての場所にもしたいと考えている大川さん。「中学生や高校生、大人の皆さんも力を抜いてホッと一息つきたいなと思ったときに、気兼ねなく来てもらえたら」と話していました。



1 手作りの遊具で放課後の時間を楽しむ子どもたち 2 大川さん(写真①)と、一緒にこの場所を支援する高野新一さん(写真②)。場所など詳しくは、大川さん(☎090-8280-3690)まで

▼編集後記

町内での行事が、ノロウイルスなどの影響で規模が縮小されたり、中止になったりしているようです。「自分は元気だから大丈夫」と安心していている人はいませんか。「安心しすぎる」と注意力が低下して思わぬ落とし穴があるかもしれません。が、「注意しすぎて」も、過度なものを除き問題はなく、私たちが守る手立てとなります。病気も、自転車に乗ることも同じです。一人一人が注意して乗りましょう。(久保 気が付くと新年を迎えて、1カ月が経ちました。年末年始は、学生時代の友人と出掛ける機会が多く、中には大学卒業以来久しぶりに会う友達も。近況を報告したり、思い出話に花を咲かせたり、楽しいひとときを過ごし、リフレッシュできました。親しい友人と会えるのも命があつてこそ。車もバイクも自転車も、みんな「同じ乗り物」です。交通ルールを守って過ごしていきたいですね。(蔭合)

Proud! Japan

※日本企業の商品を優先して

サンタ

アイスクリーム

アイス サンタ 検索

広告



有料広告募集中

掲載場所 裏表紙の最下段
 広告料 20,000円/枠(1カ月)
 大きさ 縦40ミリ×横60ミリ
 カラー フルカラー

☎総務課広報情報係 ☎985-4132